

宣教支援センターだより  
2022年3月号

ロシアのウクライナ侵攻によって、「あなたは殺してはならない」という十戒の誡めが破られました。戦争は悪でしかありません。敗戦を経験した我が国だからこそできる、積極的平和の実現を求めて、祈りを積み重ねましょう。

■教会を新たにするために

その12 限界的な状況の中で

2021年10月から高須キリスト教会への伴走支援が始まりました。山田雄次先生と共に教会の草創期を担われた方々がご高齢になられた今、教会は伝道の面でも教会財政の面でも、かつてないほど厳しい状況下に置かれています。

2月20日の礼拝宣教で山田先生は、マルコ6章30節以下の「五千人の給食」の場面から、教会の将来計画づくりの根幹についてお語りになりました。

あの場面では、①伝道から帰って休息を必要としていた弟子たちの限界的状況、②飼う者のいない羊のような状態にあった群衆の限界的状況、がありました。

イエスは、自らの手で5つのパンと2匹の魚を分かちことによって、弱り果ていた群衆を養われました。

イエスは疲れていて自分たちの時間が欲しい弟子たちの思いにではなく、まず群衆の思いに答えようとされたのです。

教会はこの世の救いのために存在しています。この世に向けて福音を語る使命を、主から与えられています。

教会の自己成長と自己保存を第一の目的としない。久山療育園に特化した支援を続けながら、イエスがそうしたように地域の救いに仕える。すると、「あの教会が無くなったら困る」ということで、教会の応援者が増えていく。そこから救われる人が起こされていく。これが高須教会が目指す将来計画づくりの根幹です。

■支援金申請が通りました

22年2月連盟理事会に、シオン山教会を含む14の共同提案教会が提出した全国支援・地域協働プロジェクト支援金申請(320万円)は、無事に可決されました。今回が最後の支援金申請でした。お祈りお支えをありがとうございます。

■今月の予定

6日(日) 高須教会礼拝出席

8日(火) センター運営委員会

12日(土) 地方連合壮年会総会

13日(日) 小倉教会礼拝出席

15日(火) センター調整会議

19日(土) シオン山・執事会陪席

20日(日) シオン山教会礼拝出席

27日(日) 高須教会礼拝出席

協力伝道ミーティング③

31日(木) 地方連合役員会

■編集後記

新型コロナの影響で2年間活動休止の状態にあった地方連合壮年会が3月12日(土)13時にZoomミーティングを行います。総会は今年度も書面決議ですが、Zoomを通してつながる機会を提供したいとのことです。詳しくは島田兄弟会長にお尋ねください。(齊藤弘司)